

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2015年6月22日

6月22日(月)にがん進展制御研究所棟4階会議室において、国立がん研究センター 先端医療開発センター免疫TR分野長 西川 博嘉 先生を講師に迎え、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。セミナーでは、「微小環境の免疫抑制機構及び新たな免疫療法開発に向けた基礎検討について」という演題で、がん免疫機構の制御における制御性T細胞の役割について、最新の研究成果を含めて講演していただきました。世界的ながん研究領域の話題となっている、免疫チェックポイントの制御によるがん治療の現状と課題について理解する、素晴らしい機会となりました。セミナーには、所内外の教職員、大学院生等約40名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



腫瘍微小環境の免疫抑制機構

講演者

国立がん研究センター

先端医療開発センター免疫TR分野

分野長

西川 博嘉 先生

日時:平成27年6月22日(月) 17:00～18:30

場所:金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

PD-1抗体により免疫抑制を解除してがんを駆逐しようとするがん免疫療法が試みられ、驚くべき臨床効果が報告されています。一方、さらに優れた臨床効果をもつがん免疫療法を開発するには、腫瘍局所の免疫環境とりわけ免疫抑制機構を解明する必要があると考えられます。

本講演では、当該領域をリードする若手研究者、西川先生に、微小環境の免疫抑制機構、および、新たな免疫療法開発に向けた基礎検討について講演していただきます。みなさま、奮ってご参加ください。